

2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月11日
東

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3198 URL <http://www.sfpdining.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 坂本 聡 (TEL) 03(5491)5869
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 2019年11月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績 (2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	20,080	7.2	1,486	10.7	1,682	11.8	954	6.2
2019年2月期第2四半期	18,738	1.1	1,342	△28.7	1,504	△26.2	898	△39.6

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 958百万円(6.7%) 2019年2月期第2四半期 897百万円(△39.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	37.09	37.03
2019年2月期第2四半期	34.64	34.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	22,874	16,199	70.8
2019年2月期	22,585	15,566	68.9

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 16,199百万円 2019年2月期 15,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年2月期	—	13.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.0	2,700	△7.1	3,000	△6.9	1,800	△7.9	69.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	25,759,689株	2019年2月期	25,729,689株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	161株	2019年2月期	83株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	25,735,283株	2019年2月期2Q	25,941,605株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易摩擦や英国のEU離脱にかかるリスクの高まりや、消費増税による消費マインドの落ち込みが懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましては、7月度に業界全体の売上が35ヶ月振りに前年を下回ったものの、8月度には回復し前年を上回って推移しております。当社グループが主として展開する居酒屋業態につきましては、店舗の減少や長梅雨による集客の不振などにより、売上は当第2四半期連結累計期間を通じて前年を下回って推移しており、厳しい状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、ビジョンである「日本を豊かにする『食』の専門店集団を目指す」に基づき、専門性へのこだわりとお客様満足度のさらなる向上を追求しつつ、新しい戦略である「SFPフードアライアンス構想」の展開を積極的に進めてまいりました。

鳥良事業部門においては、「鳥良商店」を「いち五郎」からの業態転換により1店舗出店いたしました。一方で、「鳥良」および「鳥良商店」を各1店舗撤退し、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は74店舗となりました。その結果、鳥良事業部門における当第2四半期連結累計期間の売上高は5,296百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」の既存店11店舗の改装を進めるとともに、「磯丸水産」を3店舗出店したほか、福岡県にフランチャイズ店を1店舗出店いたしました。一方で、「磯丸水産」2店舗を撤退いたしました。その結果、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営122店舗、フランチャイズ11店舗となり、磯丸事業部門における当第2四半期連結累計期間の売上高は11,527百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

その他部門においては、「いち五郎食堂」から「五の五」へ1店舗、「いち五郎」から「鳥良商店」へ1店舗を業態転換し、当第2四半期連結会計期間末現在の店舗数は32店舗となりました。その結果、その他部門における当第2四半期連結累計期間の売上高は2,406百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

当社のフードアライアンスメンバーにおいては、株式会社ジョー・スマイルが「前川水軍」等の19店舗の運営に継続して取り組んだほか、7月1日よりメンバーに加わった株式会社クルークダイニングが「からあげセンター」等の22店舗（うち、フランチャイズ店が2店舗）の運営に継続して取り組むとともに、「長野といえば、パニクカイクン」を1店舗出店いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は850百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、店舗の減損損失236百万円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の経営成績は、総店舗数が直営268店舗、フランチャイズ13店舗となり、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は20,080百万円（前年同期比7.2%増）となりました。この間、出店及び業態転換にかかる費用の減少もあって、営業利益は1,486百万円（前年同期比10.7%増）、経常利益は1,682百万円（前年同期比11.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は954百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ288百万円増加し、22,874百万円となりました。当第2四半期連結会計期間における主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,116百万円減少し、8,184百万円となりました。これは主に、売掛金が351百万円増加した一方、現金及び預金が1,553百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,405百万円増加し、14,690百万円となりました。これは主に、無形固定資産が1,123百万円、投資その他の資産が331百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ899百万円減少し、5,131百万円となりました。これは主に、買掛金が289百万円、1年内返済予定の長期借入金が106百万円増加した一方、短期借入金が990百万円、その他流動負債が234百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ554百万円増加し、1,542百万円となりました。これは主に、長期借入金が200百万円、資産除去債務が101百万円、その他固定負債が165百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ633百万円増加し、16,199百万円となりました。これは主に、利益剰余金が620百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、既存店舗の収益基盤の強化を図りつつ、「SFPフードアライアンス構想」の展開を積極的に進めることにより、業績の拡大に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、磯丸水産を中心とする既存店の業績が堅調に推移いたしましたが、下半期にかけては米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、混乱の長引く香港情勢といった海外要因の影響が懸念されるほか、台風の襲来や消費増税による影響も見通し難いことから、今期の業績につきましては、売上高40,000百万円、営業利益2,700百万円、経常利益3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,800百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,204,432	6,651,108
売掛金	356,053	707,902
原材料及び貯蔵品	124,386	158,404
その他	616,103	666,827
流動資産合計	9,300,976	8,184,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,731,492	11,472,038
減価償却累計額	△4,295,162	△5,033,466
建物及び構築物（純額）	6,436,329	6,438,572
土地	—	19,148
建設仮勘定	8,577	8,014
その他	2,901,618	3,131,679
減価償却累計額	△1,905,591	△2,205,892
その他（純額）	996,027	925,786
有形固定資産合計	7,440,934	7,391,521
無形固定資産		
のれん	1,116,599	2,226,237
その他	20,065	33,514
無形固定資産合計	1,136,665	2,259,752
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,935,868	4,150,447
その他	779,673	896,897
貸倒引当金	△8,500	△8,500
投資その他の資産合計	4,707,041	5,038,845
固定資産合計	13,284,641	14,690,119
資産合計	22,585,617	22,874,362

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	908,422	1,197,507
短期借入金	1,000,000	10,000
1年内償還予定の社債	—	6,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	116,635
未払法人税等	630,618	496,721
賞与引当金	488,141	495,876
株主優待引当金	107,668	104,765
店舗閉鎖損失引当金	7,200	27,498
資産除去債務	5,775	38,157
その他	2,873,615	2,638,796
流動負債合計	6,031,442	5,131,958
固定負債		
社債	—	76,000
長期借入金	—	200,063
退職給付に係る負債	207,740	218,953
資産除去債務	554,108	655,389
その他	226,233	392,025
固定負債合計	988,082	1,542,430
負債合計	7,019,525	6,674,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,840	539,865
資本剰余金	5,890,894	5,895,919
利益剰余金	9,147,918	9,767,926
自己株式	△149	△295
株主資本合計	15,573,502	16,203,415
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△7,410	△3,717
その他の包括利益累計額合計	△7,410	△3,717
非支配株主持分	—	275
純資産合計	15,566,092	16,199,972
負債純資産合計	22,585,617	22,874,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	18,738,962	20,080,142
売上原価	5,318,857	5,852,400
売上総利益	13,420,105	14,227,742
販売費及び一般管理費	12,077,373	12,740,987
営業利益	1,342,732	1,486,755
営業外収益		
協賛金収入	140,932	146,299
保険解約返戻金	—	35,183
その他	36,233	37,488
営業外収益合計	177,165	218,972
営業外費用		
支払利息	206	2,024
支払手数料	4,000	324
不動産賃貸原価	7,750	7,750
その他	3,845	13,554
営業外費用合計	15,802	23,654
経常利益	1,504,095	1,682,073
特別利益		
受取補償金	—	65,543
特別利益合計	—	65,543
特別損失		
減損損失	84,576	236,000
店舗閉鎖損失	3,528	6,383
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,360	27,498
特別損失合計	93,464	269,883
税金等調整前四半期純利益	1,410,630	1,477,734
法人税、住民税及び事業税	468,714	598,439
法人税等調整額	43,369	△75,202
法人税等合計	512,084	523,237
四半期純利益	898,546	954,497
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	898,546	954,493

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
四半期純利益	898,546	954,497
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△707	3,692
その他の包括利益合計	△707	3,692
四半期包括利益	897,838	958,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897,838	958,185
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。